2024年度版(2024年5月1日～2025年4月30日)

環境経営レポート

®環境省
エコアクション21
認証番号 0004183

第16版 2025年5月31日　作成

目　次

【1】組織の概要 ・・・

【1】組織の概要

事業所名　株式会社　富　永　事　業　　2025年5月31日現在

代表者名　代表取締役　山本　麻美

所在地　本店:島田市中河町8969-4
初倉支店:島田市中河846-1

設立年月日　昭和36年6月1日　創立
昭和63年6月1日　法人化　資本金:500万円

EA21認証登録日　平成21年9月16日

環境管理責任者　・石垣　圭悟
環境管理事務局　・森永　宏
・連絡先　(0547)36-6755
・E-mail　info@tominaga-jigyo.co.jp
・URL:　http://www.tominaga-jigyo.co.jp

事業内容

1) 浄化槽維持管理業
・浄化槽保守点検業
登録番号　63第353号
登録有効期間　令和6年12月16日から令和9年12月15日まで
・浄化槽清掃業
島都下第　524号
許可期間　令和5年7月1日から令和7年6月30日まで

2)一般廃棄物処理業
・し尿・浄化槽汚泥　収集運搬
島都下第　523号
許可期間　令和5年7月1日から令和7年6月30日まで

3)建築物飲料水貯水槽清掃業
登録番号　静岡県17貯第3号
登録有効期間　令和5年6月23日から令和11年6月22日まで

事業規模

社員数:	32人		
車両台数:	1.8t	1台	バキューム車
	3.0t	6台	バキューム車
	3.3 t	1台	バキューム車
	軽自動車	12台	点検車

事務所床面積　本店:　892.22㎡　初倉支店:212.34㎡

一般廃棄物処理量　2024年度実績　13,648㎥(浄化槽汚泥・汲み取りし尿の合計)
(2024年5月1日～2025年4月30日)

主要取引先　島田市立総合医療センター(旧島田市民病院)　月坂団地汚水処理場
医師住宅　バラの丘公園　看護学校
特別養護老人ホーム　ぎんもくせい
特別養護老人ホーム　あすか　　他多数

【2】環境経営方針

基本理念

私たちは浄化槽維持管理の事業活動を通し、
社員一人一人が企業としての社会的責任を認識し、
環境への意識を互いに高め、
地域の水環境を「水のプロフェッショナル」として守ります。

基本方針

当社は自社の事業活動に基づいた環境経営システムを構築し、環境の維持と継続的改善を制約します。

1)化石燃料・電力等のエネルギー消費を可能な限り削減し、CO2排出低減を目指します。

2) Reduce, Reuse, Recycleの3Rを実践し、廃棄物の排出量を削減します。

3)地域の水環境保全を常に意識し、資源の有効活用に努めます。

4)環境関連法規等を遵守します。

5)社員自らが積極的に情報を収集し、考え、動く。
人に「してもらう」のではなく、自ら「する」自主性を大事にします。

6)顧客へ浄化槽維持管理の必要性を対話と図を用いて説明することに努めます。

7)災害時におけるトイレ問題について行政と協力し市民の自助活動への支援に努めます。

8)社員の人材育成に注力します。

9)環境経営の継続的改善を行います。

10)この環境方針は社内に掲示し、全社員に周知させ環境活動レポートを作成し社外へも公表します。

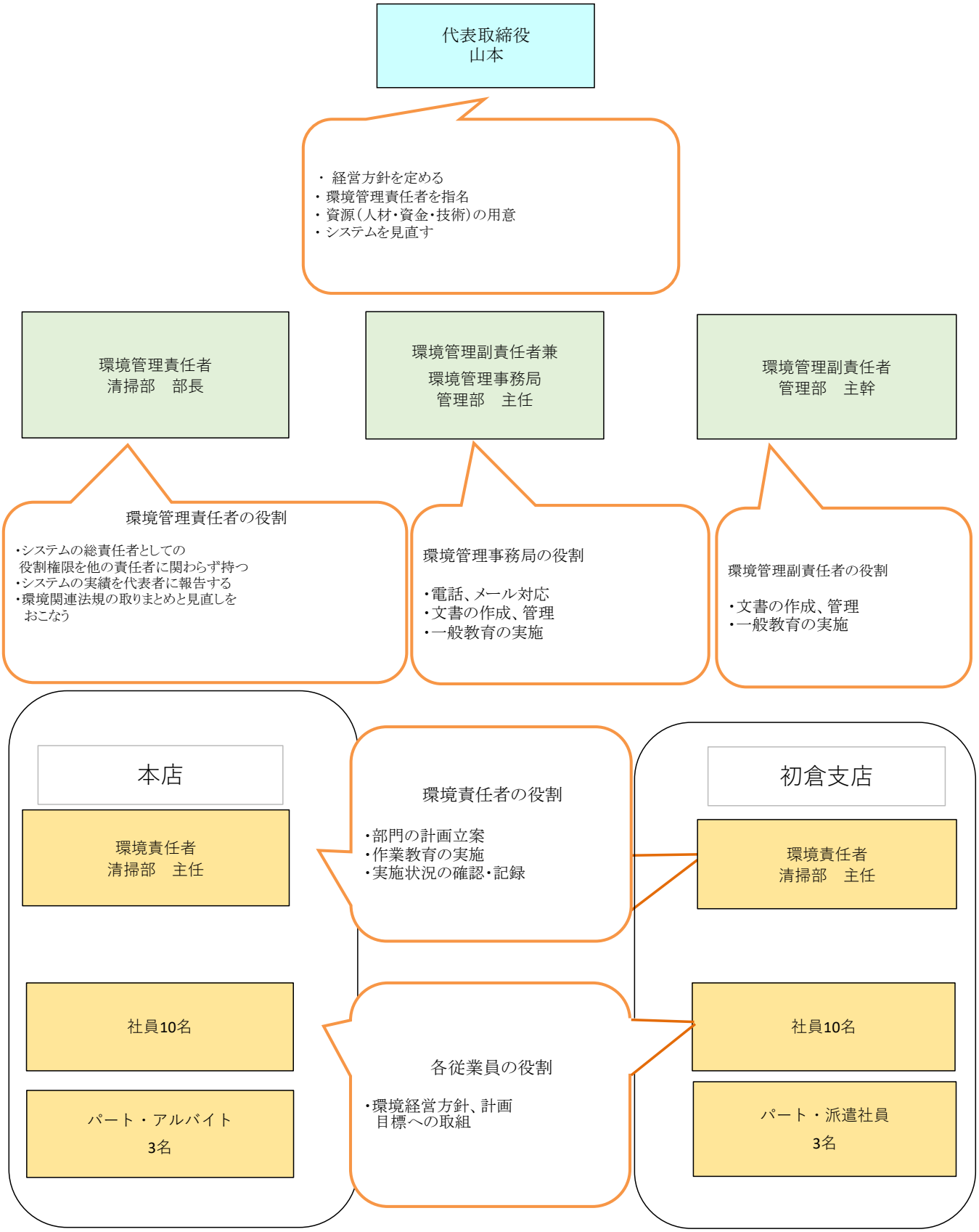
制定日:平成21年2月1日
第五回改定日:令和 3年9月4日

株式会社富永事業

代表取締役 山 本 麻 美

【3】富永事業 組織図

2025年5月31日現在



〇エコアクション21の取り組みは全組織・全社員が対象である

【4】中長期 環境経営目標

項目		単位	2023年度 実績 (基準)	2024年度 目標 基準比 -1%	2025年度 目標 基準比 -2%	2026年度 目標 基準比 -3%	2027年度 目標 基準比 -4%	2028年度 目標 基準比 -5%
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	96,084	95,123	94,162	93,201	92,241	91,280
軽油	使用量	L	23,490	23,255	23,020	22,785	22,550	22,316
	指標	*	0.56	0.56	0.57	0.58	0.59	0.60
ガソリン		L	7,270	7,197	7,125	7,052	6,979	6,907
電力		kWh	34,465	34,120	33,776	33,431	33,086	32,742
LPG		㎥	16	16	16	16	15	15
廃棄物	事業系(可燃)	kg	2,097	2,076	2,055	2,034	2,013	1,992
	産廃	kg	3,810	3,772	3,734	3,696	3,658	3,620
水の使用量		m^3	419	415	411	406	402	398
収集運搬量		㎥	13,234					

○　2009年9月1日より島田本店と初倉支店の両店舗にて営業を開始

○　数値は島田本店・初倉支店の合計値

○　購入電力による二酸化炭素排出係数は
－2019年度実績－2021.3.7環境省・経済産業省公表の
中部電力 ミライズ㈱(旧中部電力)0.452(kg-CO2/kWh)を使用する。

○　軽油欄の指標(*)とはバキュームカーの汚泥運搬量を軽油使用量で
除したもの(数値が大きいほど運搬効率が良い)
※指標計算式:浄化槽汚泥・汲み取りし尿の合計(㎥)/軽油使用量(ℓ)

○　LPGは容積管理(LPG比重:1㎥＝2.07)

【5】環境経営計画

2024年5月1日～2025年4月30日

取組目標	活動項目		責任者
二酸化炭素排出量の削減	照明	使用していない部屋の消灯徹底	管理部 主任
	空調	エアコン設定温度上限を夏26℃・冬22℃にする	
		フィルターの定期清掃	
		使用していない部屋の空調停止	
		サーキュレーターの使用	
	他設備	洗濯機は8割以上入れて運転する	
		乾燥機も8割以上入れて運転する	
		冷蔵庫に物を詰めすぎない	
		冷蔵庫の設定温度弱	
廃棄物排出量の削減	事務所	コピー用紙の両面使用	総務部 部長
		封筒の再利用	
		リデュース・リユースの実践	
		廃棄物の分別	
	現場	事業系・産廃系の分別	管理部 主幹
		薬品・スプレー缶の中身を空にして廃棄	
水使用量	上水	節水表示	
		洗濯物をまとめて洗う	
		蛇口の水漏れチェック	
自主改善・提案の意識向上		新型バキューム車の導入	清掃部 部長
		顧客に浄化槽維持管理の必要性について説明する	
		新入社員へのエコアクション教育の実施	

○ 活動項目は毎日全員が行う

環境経営目標の実績と評価

項目		単位	2023年度 実績(基準)	2024年度 目標基準比 -1%	2024年度 実績	目標対 実績比	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	96,084	95,123	101,059	106%	×
軽油	使用量	L	23,490	23,255	24,585	106%	×
	指標	*	0.56	0.57	0.56	-	△
ガソリン		L	8,076	7,995	8,301	104%	×
電力		kWh	36,799	36,431	40,355	111%	×
LPG		㎥	19	19	20	106%	×
廃棄物	事業系(可燃)	kg	2,529	2,504	2,097	84%	○
	産廃	kg	3,810	3,772	5,040	134%	×
水の使用量		㎥	473	468	445	95%	○
収集運搬量		㎥	13,277		13,648		

○　2009年9月1日より島田本店と初倉支店の両店舗にて営業を開始

○　数値は島田本店・初倉支店の合計値

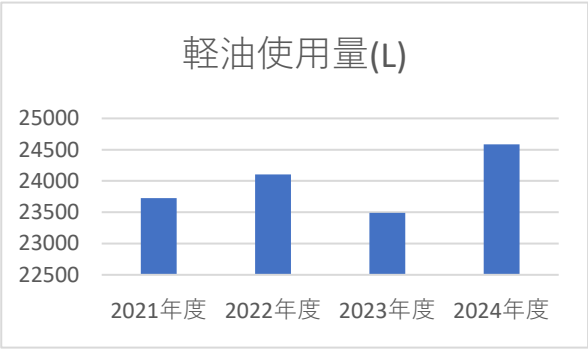
○　購入電力による二酸化炭素排出係数は
　-2019年度実績-2021.3.7環境省・経済産業省公表の
　中部電力 ミライズ㈱(旧中部電力)0.452(kg-CO2/kWh)を使用する。

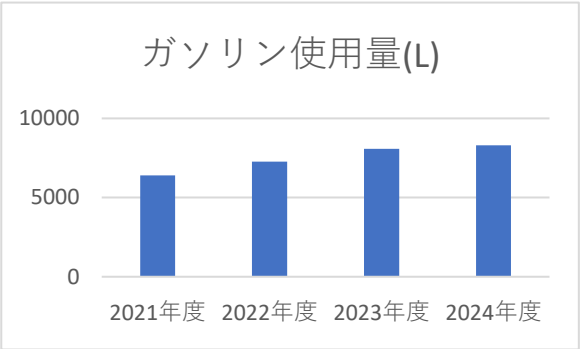
○　軽油欄の指標(*)とはバキュームカーの汚泥運搬量を軽油使用量で
　除したもの(数値が大きいほど運搬効率が良い)
　※指標計算式:浄化槽汚泥・汲み取りし尿の合計(㎥)/軽油使用量(ℓ)

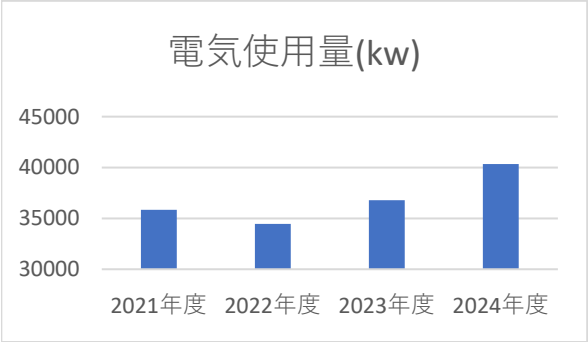
○　LPGは容積管理(LPG比重:1㎥＝2.07Kg)

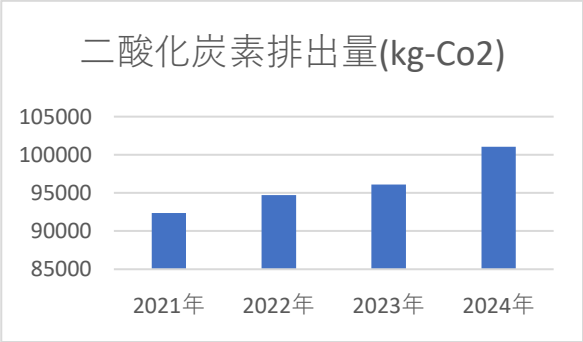
○　一般廃棄物排出量については、可燃ごみのみを削減対象としている。

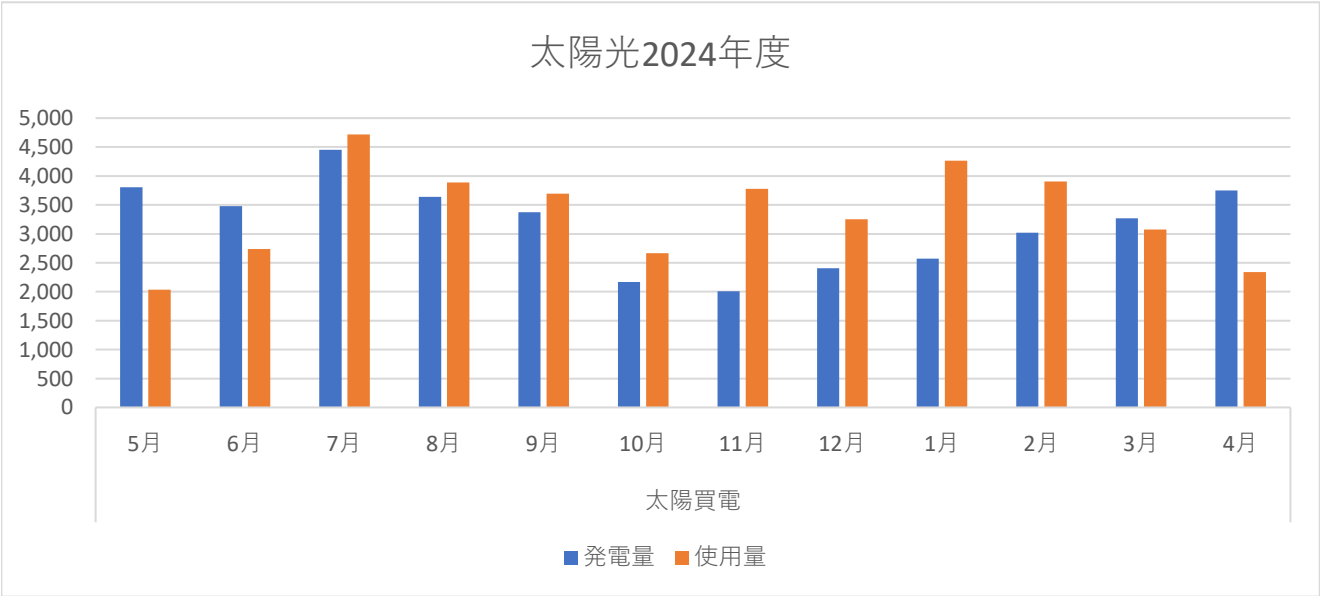
環境経営目標の実績グラフ











本店：使用と売電両方

初倉支店：売電のみ

環境経営計画の報告

評価・見直し者：石垣 圭悟
作成日：2025年6年18日

二酸化炭素排出の削減	主要対象	主な取組み内容
	①軽油	効率的なルートの策定と実施・エコドライブ
	②ガソリン	効率的なルートの策定の実施・エコドライブ
	③電力	空調の温度設定・遮光対策・衣類乾燥機の使用制限

●評価と見直し
①軽油使用量は目標対比106％と6％の増加しました。今期は収集運搬量が前年対比371㎥増加して軽油使用量は1095Lの増加となりましたが指標について0.56となっているため前年同様となっています。
常時稼働が7台になったことも増加要因に1つではありますが、効率的作業は今後も継続し行っていきます。

②ガソリン使用量は目標対比104％と増加しています。前年対比225Lの増加です。主たる要因は業務量増加による休日出勤の増加と休日出勤対応者の増加で点検作業車の稼働が増加したためです。
業務の状況に大きく左右されるため対策ができない状況ではあります。

③使用電力は目標対比111％と増加しています。その要因は昨今の夏の猛暑と長引く残暑で使用期間の増加が考えられます。現場作業員には熱中症対策として休憩時間中に十分な休息を取ってもらうため使用を控えることは難しいですが、PCの消し忘れや照明の消灯忘れ、晴れの日の衣類乾燥機使用など頻度は多くないものの見かける場面があるため、注意喚起をし無駄をなくしていきます。
・主要対象には含めていませんが、LPGが106％と増加しています。初倉店のみの使用しているもので、今期も社員の移動があり初倉店に勤務する従業員が増加していることが要因と思います。

廃棄物排出量の削減	主要対象	主な取組み内容
	①一般廃棄物	コピー用紙の両面使用・封筒の再利用
	②産業廃棄物	混合廃棄物の分別

●評価と見直し
①一般廃棄物は目標対比16％減少となりました。今期、レポート作成にあたりデータ収集でマニフェストと実測値の相違が発覚しました。取引業者の計量ミスによるものでした。この件は取引業者とも話をし計量について正確に行うことを約束しました。当面は当社でも計測し相違がないかを確認してまいります。
その為、正確な比較とはなりませんでした。

②今期は目標対比34％増となってしまいました。自社工事の増加が主たる要因です。しかしながら産業廃棄物は自社工事の増減やブロワやポンプの故障による廃棄は当社では操作が不能なため対策することは難しいですが、現在は廃棄するブロワやポンプのコードを分別し混合廃棄物と分け資源として利用しています。

水使用量の削減	主要対象	主な取組み内容
	上水道	節水表示・洗濯物をまとめて洗う

●評価と見直し
水道使用量は目標対比95％と5％の削減ができました。7月8月と気温が高いことは変化はありませんが、一昨年より行っている屋外休憩所の環境を改善するため、スプリンクラーで散水の頻度と時間を見直した結果であると考えます。また、夏にグリーンカーテンのためゴーヤを植えていますが、あまりの高気温で枯れてしまい水を与える期間が減少したことも要因の一つと考えます。

自主改善・提案の意識向上	主な取組み内容
	①新型バキューム車の導入
	②維持管理の必要性を顧客に説明
	③新入社員へのEA教育実施

●評価と見直し
①2024年10月と11月に新型バキューム車が2台納車となりました。これにより旧式のバキューム車が一新されました。当社ではバキューム車が一番の燃料使用と二酸化炭素排出量を排出して負荷をかける割合が高いので環境に配慮された車両の導入は価値の高いものとなりました。
②この活動は毎年継続して行っておりますが、昨今の地震や水害もありそのような際の対応方法を問われることがありお客様の浄化槽への関心より高まったと実感しています。今後も継続していきます。
③新入社員の増加に伴い、EAの概要・現在までの経過等に加え、EAにおける防災訓練を実際の事例をあげ行っております。

防 災 訓 練

訓練日：2024年8月23日
訓練場所：本店
参加者：全社員

実施した取組内容の実績と評価
今回の防災訓練はバキュームカーのコック破損によるタンク内部の汚泥が流出した想定で訓練を行いました。 現場に土嚢袋で汚泥流出を抑え、コーンで安全対策を実施、流出した汚泥を吸う為にもう一台のバキュームカーで作業を行い、デッキブラシや高圧洗浄で現場の清掃をし、最後に石灰で消毒をし訓練終了となりました。 汚泥の流出は交通事故や作業ミスなどで発生することが十分に想定される為、今回の訓練で何を準備し、どのように対応するのかを社員同士で確認することが出来ました。

地域貢献活動報告

今年度は小学校4年生対象の環境教室を島田市・牧之原市の小学校をメインに計14校を対象に15回行いました。当社社員も参加しています。子供たちにも分かりやすいように、ゲーム等を行いながら水環境の保全について説明しました。

大きな災害で報道されることの少ないトイレ事情。現状は不衛生で悲惨な状況です。2024年は大きな地震の発生こそありませんでしたが、天候不純による大雨災害はいくつか発生し犠牲者も出てしまっています。当社の水質保全区域が災害にあった時に同じ事態に陥らない為に事前の準備が大切であると考ます。当社で「災害時のトイレ対策」という小冊子を作成し、ご家庭に配布を継続的に行っています。加えて、緊急時に使用できる災害時用トイレをお客様へお配りし防災意識の向上を目指しております。当社社長より全社員が災害対策のセミナーを受け、重要な内容を冊子と共に顧客にお伝えしています。また、次年度については違った形でお客様へ災害時の備えについてお伝えできればと考えております。

次年度 環境経営計画

取 組 目 標	活 動 項 目		責任者
二酸化炭素排出量の削減	照明	使用していない部屋の消灯徹底	管理部 主任
	空調	エアコン設定温度上限を夏28℃・冬22℃にする	
		フィルターの定期清掃	
		使用していない部屋の空調停止	
		サーキュレーターの使用	
	他設備	洗濯機は8割以上入れて運転する	
		乾燥機も8割以上入れて運転する	
		冷蔵庫に物を詰めすぎない	
		冷蔵庫の設定温度弱	
廃棄物排出量の削減	事務所	コピー用紙の両面使用	総務部 部長
		封筒の再利用	
		リデュース・リユースの実践	
		廃棄物の分別	
	現場	事業系・産廃系の分別	管理部 主幹
		薬品・スプレー缶の中身を空にして廃棄	
水使用量	上水	節水表示	
		洗濯物をまとめて洗う	
		蛇口の水漏れチェック	
自主改善・提案の意識向上		大型バキューム車の導入の検討	清掃部 部長
		顧客に浄化槽維持管理の必要性について説明する	
		新入社員へのエコアクション教育の実施	
		初倉支店照明のLED化検討	
		社内研修	

○ 活動項目は毎日全員が行う

環境関連法規への違反・訴訟等の有無

１．環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規（下記参照）の遵守状況を確認した結果違反はありませんでした。

確認日　2025年5月10日

確認者 環境管理責任者

	適用対象	法規・条例・規制	適用内容	備考	遵守状況
業として遵守する法規	浄化槽保守点検業	浄化槽法	保守点検の技術上の基準	作業方法	○
			記録の保管	3年間保管	○
		静岡県浄化槽保守点検業登録条例	浄化槽保守点検業の許可	3年毎更新	○
			帳簿備付	5年間保管	○
	し尿・浄化槽汚泥　収集・運搬	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物の収集・運搬・処分等の基準	2年毎更新	○
		浄化槽法（平成17年改正法に基づく）	帳簿備付	5年間保管	○
	浄化槽清掃業	島田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	浄化槽清掃業の許可	2年毎更新	○
			清掃の技術上の基準	作業方法	○
			事業報告	毎月報告	○
	建築物飲料水貯水槽清掃業	建築物における衛生的環境の確保に関する法律	建築物飲用水貯水槽清掃業登録証明書 登録番号　静岡県17貯第3号	6年毎更新	○
		水道法	飲料水の水質検査（自社簡易検査）		○
		建築基準法	建築物の衛生の見地からの規制	濁度測定	○
自社が遵守する法規	全般	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の排出	委託契約マニフェスト管理マニフェスト年間交付状況報告　（毎年6月末）	○
		浄化槽法	保守点検	定期点検	○
			清掃の実施	バキューム作業	○
			11条検査の実施	法定点検の実施	○
		消防法	防火対策	火の元の管理	○
		島田市環境基本条例	環境負荷低減、環境保全への努力		○
		道路運送車両法	車両安全性の確保、公害の防止 その他の環境保全	車両の点検整備の実施	○
		フロン排出抑制法	規制対象の空調の管理	簡易点検	○

２．違反、訴訟等の有無

過去3年間にわたって関連機関からの指摘、利害関係者からの訴訟及び住民等からの苦情もありませんでした。

総 合 評 価

令和7年 7月　28日

株式会社　富　永　事　業
代表取締役　山本　麻美

昨年に引き続き消費者物価指数は引き続き増加しており、３０年以上に渡り価格維持に努めてきた当社でも料金改定を余儀なくされる事態となりました。事業を継続していくにあたり、燃料費や補助金等の対象にならないバキューム車の購入、また営業活動を支えるインフラであるネットワークシステム、IT関連のハードウェア、と全ての高騰に対応していく必要がありますが今回の料金改定でどこまで対応していけるのか未知数です。

しかしながら今期は旧車両であるバキューム車を一新し２台新型車両の購入を行うことが出来ました。これらは旧車両と比較しても作業効率や二酸化炭素排出量で性能が上回ると聞いています。環境活動や営業活動においては貢献できる車両となっているので今後に期待します。

事業活動においては業務量も減少することなくむしろ増加している状況ですが年々夏の気温が上昇し始める時期も早くなっておりこの時期は当たり前のように猛暑と言われる時期になりました。現場で作業する職員の体調管理は最優先事項です。若い新人職員もいるため現場での体調管理や予防策など先輩社員たちが朝礼などで呼び掛けてくれています。引き続き体調管理を最優先に事業活動を行っていきます。

環境活動においては今期様々な項目で使用量上昇がみられましたが営業において業務対応の結果と報告を受けております。引き続きその中で出来ることは努力し二酸化炭素抑制や廃棄物の排出量削減に努めます。